

産学官連携推進合同交流会の開催について

我が国の森林は、現在、育成の時代から主伐・再生林と資源の持続的な利用に基づく循環の時代へ大きく転換しつつあります。このような中で、木造建築へのCLT導入や木材の土木事業への利用推進等、新たな木材需要の拡大に強い期待が寄せられております。一方、今後、木材の利用技術を支える原動力となる人材の育成が大きな課題となっていくことも予想されます。このような背景を踏まえて、昨年9月には、(一社)日本木材学会、(公社)日本木材加工技術協会ならびに(公社)日本木材保存協会の間で、「技術士ならびに各団体の技術資格の活用に関する合同検討会」を設立することで合意をいたしました。

このたび、合同交流会「木材利活用のさらなる展開に向けた期待と課題 - 新分野開拓とそれを支える人材育成を考える -」を企画いたしました。関係各位におかれましては、何卒ご参集を賜りたくご案内申し上げます。

(会合名)

産学官連携推進合同交流会「木材利活用のさらなる展開に向けた期待と課題
- 新分野開拓とそれを支える人材育成を考える -」

(主催団体)

(一社)日本木材学会、(公社)日本木材加工技術協会、(公社)日本木材保存協会

(開催日および会場)

2017年5月15日(月)、東京大学農学部 中島ホール

(交流会)

13:30-13:35 開会挨拶

13:35-15:05 基調講演(各講演45分間)

講演①「CLTの利活用推進に向けて」

(一社)日本CLT協会 中島浩一郎

講演②「土木事業における木材利用に関する新展開」

(飛鳥建設(株)) 沼田淳紀

15:20-17:05 パネル討論(各話題15分間)

「木材利活用の推進に向けた人材育成:「士」制度の現状と今後の展開」

話題①「(公社)日本木材加工技術協会の取り組み」 服部順昭

話題②「(公社)日本木材保存協会の取り組み」 藤井義久

話題③「(一社)日本木材学会の取り組み

- 技術士制度と改定への対応について」 飯島泰男

総合討論(60分間)

17:05-17:10 閉会挨拶

(懇親会) 17:20-19:00 (アブルポアを予定)

(交流会参加費) 2,000円 (懇親会参加費) 4,000円

参加申込みは jwpa-2@mokuzaihozon.org にお申し込み下さい。